

古 舘 敬 八 氏

我 が 人 生



古 舘 敬 八 氏

日本地下水合資会社代表社員

私は、宮沢賢治の故郷に姉2人弟3人妹1人7人兄弟の長男としてこの世に生を受けました。花巻育ちです。14才でロベラしのため東京池袋にある会社澤藤製作所見習工員としてデッチ奉公、兵隊検査まで、2年たったら学校に入れてくれるとの約束で東京で6年暮らしましたが田舎者は言葉で大変苦労いたしました。

学校に入れてもらいましたが、仕事に従事しながらの夜間部、毎日池袋―新宿省線電車で通学しました。昭和19年3月まで3年間一日も休まず通えたのは、主人様の激励や仲間たちの心からの応援又幸い健康に恵まれました事と思っております。

小学校は6年高2年計8年間無休の実績をもっておりましたので、その頑張りの一

念が通じたのかも知れません。

戦争で食糧事情は良くないし、東京初の空襲はみたし、同じ死ぬなら戦地でと、特別幹部候補生に志願し19年8月柏の教育隊へ、負けるとは思ってもみなかったし、これがシベリヤ行きとはつゆしらず、万歳で入隊しました。

終戦の年20年元旦釜山に上陸、極寒北満チャムズの教育隊で教育中、ソ連参戦、教育隊は奉天の原隊復帰のためチャムズ駅から無がい貨物車へ昼頃乗車、列車は動かず、やっと夕方6時頃動き、チャムズ最後の列車になったようでした。13日ハルピンに着いて動かず、15日終戦を知る。平房にて25日武装解除（ソ連軍に依る）、イメンパーを経てハイリンの弾薬庫に終結、十月始一応冬支度に着替えし、貨物列車でハバロフスクよりシベリヤ鉄道西へ十時間、ハム鉄道の間中点シベリヤ流刑地テルマという所に降ろされ、地獄の生活が待っておりましたが幸い発電所勤務の電気工事や照明係をさせられることになったので、命拾いをして参ったと思っております。昭和24年9月抑留4年にしてやっと復員をはたして参りましたシベリヤ帰りです。

叔父が電気工事業を開業しておりましたので、電気工事に専念しておりました所、日本地下水入社を勧められ、昭和27年7月有限責任社員として内務及び現場員として勤務しました。

前社長桧垣右ヱ門氏とは血縁は無い方ですが、昭和28年8月病で入院され、29年3月加療のかいなく亡くなられ、最後の水を取ったと言う事で、私が当社の無限責任社員となり、債権債務を一切引受けましたが、債務の弁済に15年も追い回されました。希望は日本一の会社にと頑張っているつもりですが仲々35年もの長い間、どうやらやって来られたのも、世間様のご厚情の賜物と感謝の毎日であります。又長男次男も元気で会社の仕事に従事、家内共々一生懸命です。そして良き従業員に恵まれて居る事何よりの幸いと思っております。

プロフィール

大正14年3月14日 花巻に生まれ 68才
 昭和14年4月 東京池袋 澤藤製作所
 奉公
 昭和19年3月 東京角舌工学院電気科
 卒（現専修大学工学院）
 昭和19年8月 特別幹部候補生志願入
 隊
 昭和24年9月 シベリヤより復員
 昭和24年10月 東北電気工事(株)花巻出
 張所勤務
 昭和27年7月 日本地下水合資会社に
 入社
 昭和29年3月 日本地下水合資会社代
 表社員登記 29才
 現在に至る

